

タウンニュース

越木岩

令和6年9月1日発行
No.387 (年6回発行)

編集・発行
越木岩コミュニティ協議会

絵馬からひもとく 越木岩の先人たち

越木岩神社 飯森良光宮司

前号でお伝えした通り、各社に残された絵馬は、社や地域の風習・文化、奉納された時代の人々の願いや生活を伝える貴重な資料・文化財です。今号では「御蔭踊り図絵馬」を紹介しします。

天保2(1831)年に、越木岩上新田村・下新田村によって当社に奉納されました。絵馬は2面あり、それぞれ畳1畳ほどの大きさがあります。

昭和51(1976)年に修復が施されましたが傷みが激しく、当時のままとはいえませんが、鮮やかな色彩で描かれていることが分かります。昭和55年に西宮市重要有形文化財に指定されました。これらの絵馬は「御蔭踊り」の規模や情景、時代の風俗がよく描かれている貴重な民俗資料です。

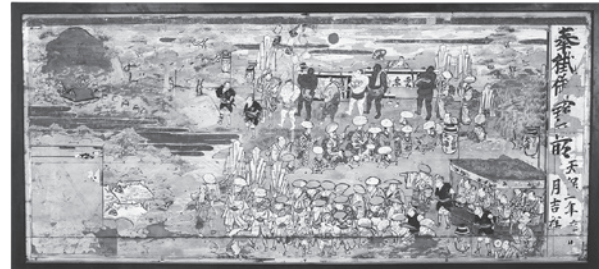
江戸時代後期の文政13年・天保元(1830)年、「御蔭参り」と呼ばれる伊勢神宮へ

の熱狂的な集団参拜が行われました。やはり本州・四国・九州の全域に広がり、この年の3〜6月までに約430万人が「宮川の渡し」を渡ったという記録も残されています。当時の人口の約5分の1が伊勢に押しかけたこととなります。その後、「御蔭踊り」と呼ばれる村踊りが畿内一円で大流行し、西宮では翌天保2年の6〜8月に盛んに踊られたようです。阿波からおこったものが伝播したようで、おおよそ当社の御蔭踊りも阿波踊りに似たものと想像できます。

か、てんぐや猿の面のようなものを被った人がいます。次に神官(神主)、稚児、おそろいの衣装に身を包み、整然と踊る村人たちが続きます。列の中にはその他にちようちんを掲げた者、神様への捧げ物を意味する御幣(ごへい)を持った者などがいます。そして大変興味深いのが、5人の力士が描かれています。扁額(へんがく)と大絵馬のようなものを背負う力士、お札がついた竹を持つている力士です。当社では秋祭りに相撲大会、泣き相撲を執り行っています。この頃から力士や相撲とは縁があったことがうかがえます。



御蔭踊り図絵馬(▲上新田奉納 ▼下新田奉納)※越木岩神社所有



描かれた列の最後尾に、楽車に乗った三味線や太鼓などの鳴り物を奏でる楽人たちが描かれています。今では越木岩地域の秋の風物詩ともなっていますが、今の地車の起源と思われる。また、楽車には「下新田大踊り」と書かれています。この大踊りは伝統的な雨乞祈願の踊りといわれ、古くから雨乞祈願が行われていたことが分かります。『西宮ふるさと昔話』にある「石の宝殿」でも、越木岩の村人たちが六甲山山頂近くにお社を建てて雨乞いをしたという話が残されています。

絵馬から推測するに、越木岩の村人たちはお互いに協調し、農業を中心に村を発展させていたのでしょうか。立派な拝殿や鳥居、家屋が描かれており、その衣装で踊る姿からも分かります。そして、地車や相撲が継承されていることから、歴史をしっかりと紡いでいるといえるのではないでしょうか。

苦楽園中学校

越木岩神社など地域47事業所が協力！ トライやる・ウィーク in 越木岩

平成7(1995)年に兵庫県を襲った阪神・淡路大震災の経験を経て、地域との連携の大切さと心の教育を重視し、平成10年度から県の各市

が発令された5月28日を除く5月27～31日までの期間、さまざまな職業や文化を現場で体験しました。

地域の人たちに古くから親しまれる越木岩神社も受け入れ事業所の一つです。今年

見送られた年もありましたが、苦楽園中学校でも毎年、中学2年生が地域の事業所に赴いて、各所で初々しい姿を見せています。

「今回のテーマは、みんなで一つの目標に向かってつくり上げる。仕事の仕方の違いを細かく指導するのではなく、どのように互いにコミュニケーションを図り、物事を進めていくかに注力しました」と語るの、中学生たちを指導した同神社・禰宜の飯森隆光さん。期間中、生徒た



模擬祈祷を無事にやり終えた生徒たちに、「トライやる・ウィークでの経験を、今後の地域活動と自身の発展に生かしてほしい」と述べる禰宜の飯森さん(写真中央)

巫女の衣装に着替えた女子生徒たち。初めての経験にドキドキ



越木岩神社の本殿前には、苦楽園中学校と今津中学校のトライやる・ウィークの旗が並びました

「平凡にも思える毎日の暮らしの中に何を思いだしていくか、何を目的に生きていくかというの、これからの人生においての重要なテーマ。友情や信頼、愛など大切なものは目に見えないことが多いからこそ、周囲への感謝の気持ちを忘れずに、日々の生活の中で大切なものを見つける力を養ってもらえれば」と飯森さん。体験の最後に、同神社神職の皆さんから称賛とねぎらいの言葉をもらった生徒たちは、晴れやかな笑顔とともに越木岩神社を後にしました。

フィンランド生まれのスポーツ、 モルックを体験してみた！

モルックは、1から12の番号を書いたピンを立て、約3m離れた所から30cmほどの棒(モルック)を投げ、ピンを倒していくスポーツです。複数のピンが倒れると倒れたピンの数が、1本だけ倒れるとそのピンの数字が自分のチームの得点となり、先に50点になったチームが勝利します。ぴったり50点にならずに1点でも越えてしまうと、25点に戻ってやり直しとなります。倒れたピンはその場に再び立ててゲームは続いていきます。投げるにしたがってピンはどんどん広がっていくので、自分の欲しい得点を狙うためにはコントロールが必要で、ただピンを倒すだけでは勝つことができません。



よく狙って、ナイスショット!!

このモルックの体験会を、越木岩地域コミュニケーション協議



モルックを囲んで集合写真

会主催で、6月15日に北夙川小学校の校庭で開催しました。当日は小学生から高齢者まで、2人1組のチームで18組が参加。ルールだけを聞くに思えますが、意外と奥が深い。時間がたつに従い、皆さんかなり熱くなってきた、6カ所のコートからは、歓声や笑い声が聞こえてきました。参加した人々からは「ピンがいっぱい倒れると気持ちがいい」「狙った所になかなか飛んでくれない」「思ったよりも頭を使いますね」といった感想が聞かれ、皆さん楽しい時間が過ごせたようです。モルックは世界大会もある競技です。越木岩から日本代表チームが出現する日も近い?

新たな相撲の聖地に？

越木岩神社

越木岩相撲クラブの紹介

越木岩神社では、9月の秋祭りに合わせて幼年から大人までの相撲大会が、その少し前には泣き相撲も執り行われています。また、約2000年前に描かれた神社所蔵「御蔭踊り図絵馬」にも、力士が登場します。

ご神体の甕岩の少し南に、大國主西神社・土社がまつられています。推古地震(599年、日本最古の被害記録が残る歴史地震)の後に、地震の神をまつるために建立されたといわれています。力士の四股は大地の邪悪な霊を踏み鎮めるともいわれることから、昔から相撲や力士に縁があったのかもしれない。

3年前からは、二子山部屋(元大関・雅山)が3月の大相撲大阪場所です。神社や苦楽園口駅前で力士を見た、という人もいないのではないのでしょうか。春は大相撲、秋は相撲大会や泣き相撲と、越木岩地域はま

さに相撲の聖地となってきたいるのかもしれない。

神社内には土俵が常設されていて、相撲大会や二子山部屋の稽古では、その土俵が使用されています。土俵のメンテナンスは大変なようで、大相撲では場所ごとに作り直すようですが、神社土俵は越木岩相撲クラブの人たちによって手入れされています。

越木岩相撲クラブは、現在12人の会員がいます。大人の相撲クラブは関西でも珍しくなっています。月に数回、神社土俵で練習しながら土俵を守っています。

相撲、特に四股などの動きは、健康にも良いといわれていますので、気軽に参加してみたいかがでしょうか。



相撲大会(大人の部)の様子※越木岩神社所有

夙川の初夏の楽しみ

アジサイとゲンジボタル

6月には阪急苦楽園口駅の夙川河川敷緑地(夙川)公園を中心に、色とりどりのアジサイが見頃を迎え、訪れた人たちの目を楽しませました。夙川のアジサイは桜の根を守る役目も果たし、今では夙川の初夏の風物詩となっています。



雨上がりの日のアジサイ。雨の日のお出かけも気分があがりますね

今年も日没になると蛍が飛び交い、幻想的な光を放って人々を喜ばせました。蛍の幼虫はカワニナという貝類を餌にして成虫になります。蛍が生息するには、夙川の生態系が豊かであることと大きく関わっています。

身近な場所で四季を楽しめる自然豊かな夙川を、私たちの手で大切に守り続けていきたいですね。

北夙川子ども会

4年 不破 菜々恵

私の夢は、小説家です。理由は、小説を読むとその世界に入りこめてとても楽しいからです。私の好きな小説は『ハリー・ポッターシリーズ』と『マジック・ツリーハウス』です。2冊とも魔法の世界に入れて小説ならではの感覚を味わえます。見える世界が変わります。そんな感覚をたくさんの人に知ってほしいので、私は小説家になりたいと思います。

北夙川子ども会

6年 小倉 歩実

私の将来の夢は、イラストレーターです。理由は絵を描くことが大好きだからです。今私には好きなキャラクターがいます。そのキャラクターを見ていると私はいやされて、幸せな気持ちになります。こんなふうに、自分の描いた絵で誰かがいやされたり、幸せになるといいなと思います。

北夙川子ども会

4年 高倉 優月

私のゆめは、ファッションデザイナーです。なぜかというと、服の絵をかくのは、楽しいからです。私が入っている服はジーンズなので、はなりゅうの服をよくかきます。これからも服の絵をかいてもっと上手になりたいです。そして、デザイナーの学校に行きたいです。

苦楽園子ども会

4年 山岸 咲桜

私は保育士になりたいです。それは、私の通っていた園ではいろいろな行事があったり、乗馬体験、田植え、芋掘り、柿狩りでは、渋柿で干柿を作って、みんなでおいしく食べました。一番の思い出はポシェット作りです。なかなかうまく作れない私を、先生は最後まで見守ってくれました。みんなを笑顔にできる先生になります。

わたしの夢



令和6年度補導委員紹介

今年もお世話になります。

- 大西 徹(越木岩自主防災会)
 - 寺川 恵子(民生・児童委員)
 - 多幾山 敬(北夙川小PTA)
 - 上田 輝代(苦楽園中PTA)
- ※敬称略

告知板

異世代交流会

日時 9月13日(金)10時~11時30分
場所 越木岩幼稚園

・越木岩幼稚園園児と地域との交流会

越木岩神社・みんなで秋祭り

○奉納泣きずもう
9月15日(日)

○秋祭例大祭
○だんじり巡行

9月22日(日・祝)
9月23日(月・振休)
・詳細は掲示板を見てください

長寿を祝う会

主催 夙川地区社協

日時 9月29日(日)12時30分

場所 夙川公民館

敬老のつどい

主催 北夙川・苦楽園地区社協

日時 10月27日(日)

場所 北夙川小学校体育館

※詳細は掲示板、回覧板を見てください

スポーツのつどい

○第56回体育祭

主催 越木岩自治会

日時 10月14日(月・祝)午前中

雨天時は中止

場所 北夙川小学校校庭

○夙川地区体育大会

日時 10月27日(日)9時30分

雨天時は11月3日(日・祝)

に順延

場所 夙川小学校校庭

第73回西宮市民文化祭

日時 10月12日(土)

22日(火)10時~16時

場所 夙川公民館

旅行友の会

日時 11月10日(日)

行先 天橋立・伊根湾めぐり

※詳細は掲示板、回覧板を見てください

※ギヤラリー越木岩

サロnde越木岩

9・10月は中止です

越木岩公民館 地域学習推進員会講座

ミニプレコンサート

日時 9月21日(土)13時~14時
場所 越木岩会館 2階ホール
内容 トークと音楽で幅広い年代の人に毎回楽しんでいます。弦楽器とピアノの演奏を小さな子どもと一緒に鑑賞しませんか? 0歳から参加できます。(曲目は当日発表)
演奏 弦楽器 奥村英樹
ピアノ 松本光史
定員 70人(申し込み不要)
参加費 無料

☆越木岩公民館が建て替え工事のため閉館していますので、越木岩公民館地域学習推進員会講座は、越木岩会館で実施しています。問い合わせなどは、市・地域学習推進課までお願いします。(中央公民館 ☎0798-64-9482 平日の9~17時まで)

わが家のペット



▲上が りん(9歳 メス)
下が 花菜(10歳 メス)
時々けんかもするけど、とっても仲良しな2匹です



▲ももちゃん(2歳 メス)
驚くほど人懐っこい性格で、いつも窓から人を見て「もも」と呼ばれると返事をして玄関まで走って駆け付けます。葉っぱが大好きで、いつもむしゃむしゃなももちゃんです

ペットの写真募集
写真に名前とコメントを添えて、応募してください(粗品進呈)。
〒662-0072
西宮市豊楽町2-1-29
越木岩会館内
「タウンニュース越木岩」

越木岩地域の氏神様 ~皆様の健康をご祈念します~

七五三詣は 越木岩神社

申し込み・問い合わせ
泣き相撲9月15日開催
お申し込み受け付け中

0798-71-8375

http://www.koshikiwa-jinja.jp/
〒662-0092 西宮市甕岩町 5-4

